

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期枕崎市地方創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

鹿児島県枕崎市

3 地域再生計画の区域

鹿児島県枕崎市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、1955年にピークの35,546人に達し、1970年から1985年までは3万人前後の総人口を維持していたが、その後、人口減少が続き、2020年では20,033人となった。住民基本台帳によると2024年4月には19,060人となっている。

国立社会保障・人口問題研究所によると、今後、本市の人口は減少を続け、2030年には18,370人、2045年には12,221人になると推計されている。

本市の年齢3区分別人口については、国勢調査によると1990年から2020年にかけて15歳未満の年少人口が5,618人から2,031人、15～64歳の生産年齢人口が17,907人から9,758人、65歳以上の老年人口が5,262人から8,192人となっており、年少人口及び生産年齢人口の減少と老年人口の増加が見られる。社人研の推計では増加傾向にある老年人口も、今後は減少に転じ、2045年には年少人口は989人、生産年齢人口は5,216人、老年人口は6,016人と推計され、減少割合が増加していくと予想されている。

本市の自然動態を見ると、出生数は2001年には213人であったが、その後は200人を下回り、2018年以降は100人前後で推移し、2024年には61人となった。死亡数は増加傾向にあり、近年では350人以上で推移し、2024年は395人であった。このように、近年は自然減の傾向にあり、2024年に▲334人の自然減となっている。

本市の社会動態については転出超過が続き、2024年は転入631人、転出777人となり、▲146人の社会減となっている。

これらの自然動態及び社会動態による人口減少の要因としては、出生数の低下や少子高齢化に加え、若年層の進学・就職に伴う転出等が挙げられ、今後の人口減少と少子高齢化の進行により、地域における担い手不足やそれに伴う地場産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

このような課題に対応するため、安定した雇用の創出や、多様な主体が活躍できる就労環境の推進、移住・定住の促進等により、人口の社会減を抑制し、結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援を行うことで、出生率の増加を図るとともに、本市が目指す「選ばれるまち」の実現に向け、「しごと」「ひと」「まち」を起点とする多様かつ柔軟で時代の潮流にあった施策を展開していく。これらの取組の達成に向け、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

基本目標 1 産業が発展する「稼ぐ力」のあるまち

基本目標 2 若者や女性に選ばれるまち

基本目標 3 多くの人とつながるまち

基本目標 4 多様なひとが安心して暮らせるまち

【数値目標】

5-2 の①に 掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	製造品出荷額	5,530,700万円	6,500,000万円	基本目標 1
ア	農業生産額	957,500万円	1,000,000万円	基本目標 1
ア	立地協定数	3件	4件※	基本目標 1
ア	1人当たり所得金額	274万円	330万円	基本目標 1
イ	婚姻件数	27件	170件※	基本目標 2
イ	出生数	58人	104人	基本目標 2
イ	若年層の人口維持	2,695人	2,695人	基本目標 2
ウ	観光地点の入込客数	423,931人	450,000人	基本目標 3
ウ	観光地点の観光消費額	570,096千円	604,000千円	基本目標 3

ウ	ふるさと納税寄附申込 件数	39,520件	55,000件	基本目標 3
エ	地域とのつながりの満 足度	47.5%	52%	基本目標 4
エ	健康状態の満足度	65.9%	72%	基本目標 4
エ	公共空間の満足度	53.4%	60%	基本目標 4

※は 2026 年度～2030 年度累計

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

枕崎市地方創生推進事業

- ア 産業が発展する「稼ぐ力」のあるまちプロジェクト
- イ 若者や女性に選ばれるまちプロジェクト
- ウ 多くの人とつながるまちプロジェクト
- エ 多様なひとが安心して暮らせるまちプロジェクト

② 事業の内容

- ア 産業が発展する「稼ぐ力」のあるまちプロジェクト

産業の競争力、成長力の促進や多様な主体の活躍による安定した雇用と
所得向上を目指す。

【具体的な事業】

- ・ 特産品販路拡大支援事業
- ・ 商店等新規出店支援事業
- ・ 食のまち魅力発信事業 等

- イ 若者や女性に選ばれるまちプロジェクト

安心して仕事と子育てができ、趣味や余暇を楽しみながら、心豊かに過ごせる生活インフラの整備を目指す。

【具体的な事業】

- ・若者定住育成協議会
- ・むぞかベイビー誕生祝金給付事業
- ・産後ケア事業 等

ウ 多くの人とつながるまちプロジェクト

多くの人々が本市と多層的につながることで、活気あるまちを実現するとともに、移住定住につながる関係人口の創出を目指す。

【具体的な事業】

- ・国内外観光誘客事業
- ・枕崎の魅力PR事業
- ・移住者住宅確保支援事業 等

エ 多様なひとが安心して暮らせるまちプロジェクト

多様な主体が社会参画や自主的に連携して地域を支える活動を促進することで、住民満足度の高いまちを目指す。

【具体的な事業】

- ・自治公民館活性化推進事業
- ・市民協働推進事業
- ・高血圧対策事業 等

※なお、詳細は第3期枕崎市地方創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,000,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市ホームページで公表する

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで